みのり

発行所　金光教寝屋川教会
〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11
℡　０７２－８２９－５１２９
Eメール　koichiyasui@yahoo.co.jp

情けは人の為ならず

先の世まで持ってゆかれ、子孫までも残るものは神徳である。神徳は、信心すればだれでも受けることができる。神徳は尽きることがない。
（天地は語る 143）

10 月になりました。金光教本部においては、生神金光大神大祭が3度にわたって仕えられます。当教会は年間予定を変更し、10 月 7 日（水）に参拝を予定しております

先の御教えでは、「神徳は、信心すればだれでも受けることができる」とありますが、どういう信心をすれば、より良く神徳が受けられるのでしょうか。

つい最近のことですが、三矢田光先生（島之内教会長）より「三矢田守秋・朝の教話集 16」を送っていただき、『そうだ、これだ！』と気づかせて頂きました。その一部を紹介させて頂きます。

○

「神徳は、人間心の位も思わず、理屈も言わず、学問のうぬぼれ心もなく、清い一心さえあれば、受けられる」

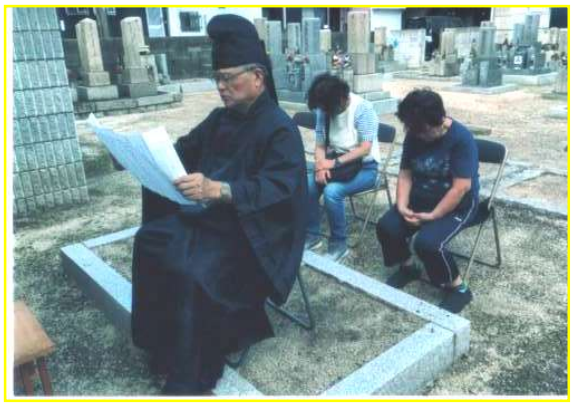
とあります。こう言われると、少しむずかしく感じるかも知れませんが、要するに、いよいよの神徳を頂くについては、至らない信心であっても、生きているあいだに、

「ああ、神様のおかげ、神様のお徳、ありがたし」と、そういう心で、めいめいの仕事の上に心を尽くしていけばよいのです。それをこのようにおっしゃってくださっているのです。

神徳を積む上で一番大事なことは、神様の願いに沿う、ということですね。

「神様は、人を助けたいとばかり思っておられ、そのほかには何もない」と教えて頂いております。その神様が人をお助けなさる、そのお役に立たせてもらうのが、神徳を頂く一番の早道です。

わが身のことだけを思わずに、人と共に助かり立ち行かせて頂くという心になって、日々、



それぞれのご用に励ましてもらい、常に人の助かりを祈らせてもらえばよいのです。そういうことを通して、目にはみえませんけれども、神様のお徳を頂かせてもらうことができ、自分がおかげを頂くだけでなしに、子孫までもそのおかげに浴させてもらうことができるのですね。

○

このように教話をなさっておられます。私なりに理解させて頂きますと、お礼を心の土台にして信心を進め、できる限り利己の心を放して、少しでも利他の心をもって他に奉仕すること、それが神徳を頂く道だと思うものです。

教育経済学者の中室牧子氏（慶応義塾大学教授）が言われるのに、「利他性（自分の利益だけを追求するのではなく、他人と協調して他人や社会の利益を考えられる力のこと）を持っている人間の方が、生涯年収が高い傾向がある」そうです。

また、利他の心をもつことで、

①脳内モルヒネ（ドーパミン、オキシトシンなど）の分泌が良くなり、快く過ごせる。
②ストレスが減る。
③人間関係が良くなり、協調することで自分の能力を高めることができる。

インターネットで調べると、このような効果があるとのことです。まさに「情けは人の為ならず」、我が為になるのですね。確かな信心を進め、共々にこのようなおかげを受けたいものです。

（教会長）

秋季霊祭

秋季霊祭前日の9月22日(火)午前10時半より教会奥城で墓前祭が仕えられました。翌日の9月23日（水）は午後2時から秋季霊祭が麗しく奉仕されました。教会にご縁のある御霊様方のお道立てを祈り奉り、子孫である私たちもまた御霊様の願いに沿って信心を進め、身代と人間と達者の上におかげを受けて、ご神願成就のお役に立たせて頂きますようにと、教会長より祭詞が奏上されました。



ご本部生神金光大神大祭参拝について

10月7日（水）午前8時に教会を出発し、御本部祭場で13時30分より執り行われるご祭事に参拝を予定いたしております。年間計画とは、都合により変更いたしました。ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。
なお、ご本部へのお供えにつきましては10月6日までにお結界へお届けください。

令和8年教会の願い

金光様、日々有難うございます。
御教えをもとに
辛抱強く信心の稽古に努め
身代、人間、達者の上におかげを受け
ご神願成就のお役に立たせてください。

生きることってすばらしい

信心をせよ
信心ということは
しんはわが心
じんは神なり
わが心が神に向かうをもって
信心と言うなり
恩徳の中におっても
氏子　信なければ　おかげはなし

理解Ⅰ　市村光五郎の伝え10

神様に祈り、自分の願いを叶えて頂くことや、自分の願いで足りないところは専門家に頼んでもらうことが、信心をすることと考えられがちです。

教祖様は、それに対して、「私が拝んでやっても、そっちに信心が無うてはおかげは受けられぬ」とおっしゃっています。人任せの信心を、信心と捉えてはおられません。

人間は本来、生まれながらに、神様の分霊を授かっています。心を神様に向けることで、神様の願いを分からせて頂き、それに沿った生き方を求めること、そのことを指して信心すると言っておられます。一時的に、自分の勝手な望みが叶えられたとしても、それが次に繋がっていかず、かえってそのために、事が悪く運んでいく場合もあります。

神様に向かう心がなければ、神様の広大なおかげの中に生かされていることに、気付きません。

自分に都合の良い欲望ばかりを追い求めていては、天地の道理から離れていることにも、気付きません。人間にとっての本当の意味での幸せは、遠い所に行ってしまいます。

（天王寺教会発行『生きることってすばらしい』第2集より抜粋）

当教会の生神金光大神大祭

御本部で奉仕されます生神金光大神大祭のご比礼を仰ぎ、教主金光様のお祈りのもとに、当教会では下記の通り標記のご祭事をお仕えさせて頂きます。繰り合わせ、参拝のおかげを蒙られますようご案内申し上げます。

記

１０月２５日（日）午後2時より祭典

祭典後の宣教

講師　谷口　明　先生（門真教会長）

講題　『世話になるすべてに礼をいう心』

※準備の御用は、前日（10月24日）は午前9時より11時半まで。当日は午後１時より開始いたします。ご都合お繰り合わせを蒙られ、ご奉仕方、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

よかった日記より（教会長）

○不用品の処分をしながら（7月27日）
終活は　死ぬる準備と　言ふよりも
今を大事に　生きることかな

○布教部講師会で思ったこと（7月29日）
できないと　あきらめるより
気の付きて　改まりこそ
おかげの一歩

○故加藤渥子様の終祭にて（8月1日）
亡き人の　子や孫たちの　集まりて
永久の別れと　礼（いや）び悲しむ

○布教部会に出席して（8月5日）
われ以外　みな師匠との　話聞き
耳傾けて　聴くことしきり

○教会の移転手続きを行って（8月6日）
教会の　移転の運び　願い込め
作業進めむ　感謝忘れず

○教会の奥城参拝（8月14日）
教会の　奥城参拝　子や孫と
元気が何より　有難きこと

○終戦記念日（8月15日）
戦争の　多大な犠牲　その上に
今の平穏　忘れず感謝

○教会の不動産処分願を提出（8月19日）
教会の　処分引越し　なかなかに
進み難くて　それもまたよし

○母の弟、今實師（22歳で戦死）の命日（8月25日）
亡き人の　願いの中に　育てられ
今の生活　ご守護を受けて

○プールにて水泳（9月2日）
泳ぐこと　体にとって　最良の
薬と思い　楽しみ続けむ

○ようやく涼しくなって（9月6日）
夏過ぎて　ようやく気候　秋らしく
しのぎ良くなり　クーラーを消す

○不用品の処分（9月7日）
不用品　処分のために　買取に
持ち込みて待つ　時は金ならず

○衣類の片づけなど身辺整理（9月10日）
いろいろと　すること多し　衣替え
涼しさ進み　日に日に秋に

○教会の物品整理（9月11日）
日々に　一歩一歩と　なすべきを
カメのごとくに　遅々と進めむ

10月の予定

日	曜	教会行事	教会長、その他	日	曜	教会行事	教会長、その他
1	木	月頭祈願祭・14時		16	金		
2	金			17	土		
3	土			18	日	月例霊神祭 14時 引続き、大祭打合せ	
4	日			19	月		
5	月			20	火		
6	火			21	水		
7	水	ご本部大祭参拝 ８時教会出発		22	木		
8	木			23	金		
9	金			24	土	大祭前日御用 9時～11時半	
10	土	月例金光大神祭 14時、大祭打合せ		25	日	生神金光大神大祭 14時から祭典、宣教	
11	日			26	月		
12	月			27	火		
13	火			28	水		
14	水			29	木		アイマスク体験授業 サポート（10時20分）
15	木			30	金	『みのり』編集会議 10時40分	
				31	土		小阪教会宣教（14時）

10月のご霊神様（内は帰幽年月日）

野村貢乃霊（平成12年10月10日）　井形アヤ子大刀自乃霊（平成12年10月11日）
今うた嫗乃霊（昭和19年10月12日）　加藤タカ嫗乃霊（昭和11年10月14日）
加藤直治乃霊（昭和14年10月14日）　池端勘治郎乃霊（昭和６年10月15日）
越智忠徳翁乃霊（平成30年10月19日）　増満直次郎彦乃霊（昭和17年10月30日）

10月のお誕生

安井史佳様、松ケ角紗良様、池端晴美様、永田芙美子様、
井形峻伍様、外薗洋一様、安井雅子様

お誕生日おめでとうございます

